お知らせ

●1枚の布で着付けるイージードレス4月～第2火曜、鎌倉生涯学習センター。2千円。ほほえみドレスの会☎046・871・1705

●漁協の朝市4月1日10時、鎌倉パークホテル駐車場。鎌倉漁協☎22・3403

5・19日10時、腰越漁港。腰越漁協☎32・4743

●花祭り法要4月7日14時、建長寺。☎22・7974

●ミニ園芸教室4月8・9・14～16・20～23日10時半、鎌倉中央公園。無料。市公園協会☎45・2750

●東日本復興支援朗読の会4月12日13時20分、成福寺。申込は鎌倉大船ロータリークラブFAX47・3233

●葉山公園スケッチ教室4月21日9時45分、葉山公園案内所。5百円。要申込。☎046・876・4601

▼葉山町体育協会講演会4月21日18時、葉山町福祉文化会館。横浜高校野球部・渡辺元智終身名誉監督の話。無料。要申込。葉山町生涯学習課☎046・876・1111

▼シンポジウム「鎌倉大仏の保存と調査・研究の〝曼荼羅〟」4月22日13時、鎌倉生涯学習センター。高徳院佐藤孝雄住職が平成27年度実施の鎌倉大仏状態調査で判明した事項を講演。無料。☎22・0703

▼吉田鋼市氏講演会5月13日13時、由比ガ浜公会堂。建築史家吉田鋼一さんが近代建築と匠の世界を語る。15時、鎌倉の名建築を巡る歴史散歩。5百円、散歩3百円。申込は FAX45・5731図書館とともだち・鎌倉阿曾方☎45・5731

季節の心㉑

甘茶を注ぐ

佐伯　仁

●幼い日の遠い記憶…

春、待っていた桜は期待通りの微笑を残し、駆け足で北へ一直線…。浮き立つ心に春の風物詩を語りかけるのは〝花祭り〟でしょう。

4月8日はお釈迦さまの誕生日。クリスマスほどの賑わいはありませんが、江戸の昔からお寺で催される春の行事です。

花で飾った花御堂を境内につくり、誕生仏を水盤に安置し、竹の柄杓で甘茶を注ぎます。

母につれられ、恐々飲んだ甘茶の味は、砂糖とちがうサラッとした甘味だった事は遠い記憶…。

江戸期から両国の回向院、上野寛永寺、浅草寺等で盛んに行われ、夏病を防ぎ、頭痛も治るという健康上の効用も説かれていたとか…。

甘茶はアマチャ、またはアマチャヅルの葉を乾燥させ作った甘いお茶。『枕草子』の筆者・清少納言は、削った氷に甘い汁をかけた冷たい味を好んだといいます。当時は贅沢だったでしょうが今なら〝かき氷〟でしょう。

一方、甘茶は調味料の他に江戸期には虫除けの〝お呪い効果〟も期待され甘茶で墨をすり、紙に一文字「茶」と書き、押し入れなどに貼ればムカデも蛇も入ってこない、という俗信も江戸っ子の知恵でしょう。

こどもらも　頭に浴びる　甘茶かな　一茶

甘茶

さんか

▼鎌倉風致保存会の催し▽みどりのボランティア4月14日建長寺回春院、21日御谷山林。各9時半。▽緑と歴史探訪21日13時。東泉水ヶ谷やぐら群を訪ねて。6百円。各要申込。鎌倉風致保存会☎23・6621

▼第235回歌のサロン4月18日14時、鎌倉生涯学習センター。参加型合唱とミニ演奏。千円。古川方☎22・2131

▼ふらっと力フェ鎌倉食を通じて多世代交流。4月3日レネ、18日ロッシーズ、27日鎌倉静養館、いずれも16時。25日18時、ソンベカフェ。大人4百円、子ども2百円。申込不要。渡辺方☎090・5199・1654

▼鎌倉てらこや▽てらハウス4月7・14・21日10時、大船の千里ビル。午前学び、午後遊び。千円。▽遊ビバ！8・15・22・28日13～16時、鎌倉海浜公園。大学生と遊び。無料。小中学生と保護者。☎84・9746

▼鎌倉歩け歩け協会▽10キロふれあいウォーク4月3日桜を眺めながら台峯へ。17日鎌倉のつつじ巡り。9時50分、鎌倉駅西口時計台。▽5キロはつらつウォーク10日大船発・柏尾川の桜見物。9時50分、湘南モノレール大船駅。各2百円。▽ツツジ・新緑・潮騒の葉山道21日8時50分、亀岡八幡宮。5百円。☎090・2633・3715

▼鎌倉史跡めぐり▽光明寺・開山堂で寺宝展拝観、教恩寺特別拝観4月11・12・16・18日9時半、江ノ電長谷駅出口。長谷寺、安養院など。▽感動の絶景！長柄桜山古墳から富士を望む20・23・25・27日9時半、逗子駅東口。亀岡八幡宮、六代御前の墓など。各5百円。申込は1週間前までにハガキかFAXで。鎌倉ガイド協会☎24・6548 FAX24・6523

▼北鎌倉・台峯の緑をともに▽山の手入れ4月14日10時、山ノ内配水池横。▽山歩き15日9時、山ノ内公会堂。北鎌倉の景観を後世に伝える基金・望月方☎45・7420

▼第38回清和祭バザー4月21日10～14時、障害者生活支援センター鎌倉清和・鎌倉市立植木小学校体育館。バザー、模擬店、アトラクションなど。☎46・4891

▼第13回鎌倉路地フェスタ4月21～30日鎌倉駅周辺から雪ノ下、二階堂のギャラリーや店舗など約25カ所でアート展示やワークショップなど。事務局☎23・3663

▼義経まつり4月21日13～17時、腰越の満福寺周辺。法要、パレード、慰霊演奏など。無料。実行委☎33・0710

▼逗子ふれあいフリーマーケット（雨天中止）4月25日9～15時、亀岡八幡宮境内。雑貨・衣類・手造り品など約20店。出店者募集。片岡方☎090・5442・3778

▼第50回慈善茶会5月19日8時半～15時、大仏殿高徳院。1万円。要申込。鎌倉青年会議所☎25・5538

藤沢リラホールコンサートシリーズ

福間洸太朗

ピアノ・リサイタル

5月12日14時。

20歳で日本人初クリーヴランド国際コンクール優勝、ショパン賞受賞、海外の著名オーケストラとも共演多数の福間洸太朗さんのピアノでショパン「幻想即興曲」など。4千円、ペア券7千円。

※会場は藤沢リラホール。

福間洸太朗さん

ブルーノ・カニーノ

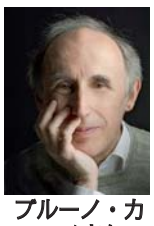
ピアノ・リサイタル

5月26日14時。

数々の国際コンクールで入賞、世界各地でソリストとして活躍するブルーノ・カニーノさんのピアノでベートーヴェン「月光」など。5千円、ペア券9千円。

☎0466・22・2721

両シリーズ券8千円も。


ブルーノ・カニーノさん

万葉集の歌に親しもう

鎌倉万葉集講座 受講者募集

千年を越えて、万葉の歌を言葉そのままに受け止め、共感し感動できるのは万葉集ならではの文化的現象です。こいっしょに楽しく万葉集の世界を探訪しましょう。

4月から1年間、毎月第3日曜10時～11時半、若宮大路ビル（鎌倉市小町2―12―35）。

参加費月額1200円。講師は菊池威雄さん（元県立衛生短期大学教授）。カルチャースペース鎌倉☎22・1496

いでたつ乙女

鎌倉女子大学生涯学習センター公開講座

コース	講座名	日時	料金・申込
特別	舘野泉ピアノコンサート2018 in 鎌倉	5/3 木曜・祝 14時 会場：二階堂学舎	3,000円 電話申込
A	『徒然草』を読む(2) ※テキスト希望者は要申込(ハガキ添書)	4/25～7/25 水曜 10回 14時20分～15時50分	6,000円 4/2~13
B	地域の建築再発見(3) - 京の祈り・花と信仰の形	5/11～9/7 金曜5回 14時20分～15時50分	3,000円 4/13~27
C	イスラームの思索をたどる	5/29・6/26・7/24 火曜3回 14時20分～15時50分	2,000円 5/1~15
D	ドイツの美術教育に親しむ(2)	9/5・9/12・9/19 水曜3回 13時30分～15時	3,000円 8/8~22
E	『万葉集』の歌びとたち(9)	5/7~7/9 月曜10回 14時20分～15時50分	6000円 4/9~23
F	中世の史料を読む－鎌倉幕府の記録『吾妻鏡』(29)	5/10～7/12 木曜5回 13時半~15時半	3,000円 4/12~26
G	ヘロドトス『歴史』の世界(8)	4/26~9/6 木曜10回 10時20分～11時50分	6,000円 4/2~13
H	漢字文化と中国書道史－書の魅力を探る(3)	5/17・6/21・7/19 木曜3回 10時20分～11時50分	2,000円 4/18~5/2
I J	目と耳で楽しむ音楽史(16) －シューベルトの音楽と生涯	5/25～9/28 金曜4回 I10時半~12時、J14 時~15時半	2,500円 4/27~5/11
K L	近代ヨーロッパ絵画の魅力(4) －バルビゾン派、写実主義の時代	6/29～9/21 金曜5回 K10～12時、L14～16時	3,000円 6/1~15
M	動物学講座－肉食の話	6/20・7/18・8/1 水曜3回 14時20分～15時50分	2,000円 5/23~6/6
N	たのしい女声合唱	4/24～7/31 火曜8回 10時20分~11時50分	5,000円 4/2~13
O	ロコモティブシンドローム予防運動	9/13・20・27 木曜3回 13時30分～14時30分	2,000円 8/16~30
P	イタリアの家庭料理を作ろう（詰め物パスタ・ラビオリ）	9/4・11・18 火曜3回 10時～11時半(11日~12時)	3,000円 8/7~21

◆会場は大船キャンパス◆申込は往復ハガキに希望コース、講座名、〒、住所、氏名・フリガナ、☎、性別、年齢明記。◆申込・問合せ〒247-8512 鎌倉市大船6－1－3 鎌倉女子大学生涯学習センター☎44・2287

購入新図書のリスト抄

鎌倉市中央図書館（2月分）

鎌倉市中央図書館（☎25・2611）は2月に一般218冊、児童書20冊を収蔵した。一般的なものは下記の通り。

▼「大拙と松ケ岡文庫―鈴木大拙没後五十年記念」多摩美術大学美術館編（方丈堂出版）▼「城塞都市鎌倉」北条氏研究会編〈歴史新書〉（洋泉社）▼「続・鎌倉別荘物語―鎌倉の失われた風景」島本千也著（島本千也）▼「足利将軍と室町幕府―時代が求めたリーダー像」石原比伊呂著〈戎光祥選書ソレイユ〉（戎光祥出版）▼「日帰りで行く大人のおいしい街歩き―鎌倉・下町・神楽坂」〈Martブックス〉（光文社）

▼「対立する国家と学問―危機に立ち向かう人文社会科学」福井憲彦編 池内了ほか執筆（勉誠出版）▼「半年だけ働く。」村上アシシ著（朝日新聞出版）▼「維新の影―近代日本一五〇年、思索の旅」姜尚中著（集英社）

▼「佐藤栄作―最長不倒政権への道」服部龍二著〈朝日選書〉（朝日新聞出版）▼「「やらないこと」から決める世界一シンプルな家事―忙しくても家をキレイにしておきたい！」本間朝子著（日本実業出版社）▼「宮沢賢治の地学教室」柴山元彦著（創元社）▼「向かい風がいちばんいい」葛西紀明著（河出書房新社）

▼「羽生結弦は助走をしない―誰も書かなかったフィギュアの世界」高山真著〈集英社新書〉▼「働く文学―仕事に悩んだ時、読んでほしい29の物語」奥憲太著（東海教育研究所）▼「まど・みちお詩論―ハイデガー哲学の視座から」岡田紀子著（晃洋書房）▼「カズオ・イシグロ読本―その深淵を暴く」別冊宝島編集部編（宝島社）

鎌倉朝日 歌壇

香山　静子　選

冬枯れの庭木の下の蕗の薹素手にて摘めばこれぞ春の香　逗子市　湊　美根子

下句に臨場感があり春が匂い立つようである。

手のひらに紐絡ませてあや取りの十指は蝶の輪舞のごとし　葉山町　近藤　純

「蝶の輪舞」という比喩が効果的。

枕辺に梅の一枝を香らせて今宵の夢に春を誘う　大船　小笹岐美子

優雅さに誘われて春は喜んで訪れることでしょう。

さっと湯に通せば海の色生まれ江の島若布食卓にのる　片瀬　中村　喬

海鳴りを残して去りし春一番夏蜜柑三つ落としてゆけり　七里ガ浜　嶋　尚久

春はやて寒気かかへて北へ飛び草木も人もほっと一息　辻堂　柳　蒼柳

会心のレース運びにパシュートのチームワークの妙技が光る　金沢区　岩澤　正春

訛ある言葉ほっこりとあたたかく「心に響くね」夫は「そだねー」　玉縄　篠田　祥子

iPadに孫の朗読動画きてとうとう語る「雨ニモマケズ…」　岡本　鳴海　紀政

白髪に戻しし友の紅の濃く花柄模様のマフラー映えて　鵠沼桜が岡　一色千穂子

テレビつけ日の出日の入り記帳するこんなに春が待ち遠しくて　津　石川　韶子

鎌倉朝日 俳壇

星野　高士　選

〈天〉和賀江島潮引く磯に春時雨　葉山町　近藤　純

和賀江島に歴史が秘められていて奥が深い作品。

〈地〉独り居の古屋ゆさぶる春風　鵠沼桜が岡　一色千穂子

春風は避けきれないが、台風より安心できそうだ。

〈人〉庭草のまだまだ見えず春寒し　本鵠沼　宗　智尾

庭草はまだ見えないがそんな日々を楽しんでいるよう。

耕すや土と心を柔らかく　逗子市　犬丸　節子

土と心の取り合せをうまく省略して表現できた。

考える葦枯れ切って佇ちにけり　城廻　小美野京子

枯葦と作者の心情が重なり合っていて面白い。

焼きたてパン抱えて帰る余寒かな　腰越　松原　薫

余寒は厳しいが春の暖かさもすぐそこに感じられ弾みのある句。

白椿めでつ佇む人のあり　腰越　大川　昭子

二月の無尽蔵なる空の奥　笹目町　出蔵かおる

一色と決めて挿したるチューリップ　逗子市　佐藤　信子

坊守のさし出すお茶に雛あられ　本鵠沼　森田　順子

さざなみと化し溜池の薄氷　金沢区　岩澤　正春

なごり雪岩に接する露天風呂　岡本　森田　孝

梅林を左右に流して車駆る　植木　風見　玲子

春灯や裏の空地に家建ちて　玉縄　篠田　祥子

梅咲いて谷戸青空に映りけり　津　細田　俊

春めきて銀色の波うちかえす　笛田　満喜

雪深ししろがね如く銀山湯　七里ガ浜東　上田　尚久

ひそと咲く玄関先のシクラメン　嶋　小林刀羊子

鎌倉や玉縄桜早愛でし　今泉　手広　道宏

これでもかこれでもか降る雪の果　常盤　片岡　和子